

平成20年度環境技術実証事業

山岳トイレし尿処理技術ワーキンググループ会合（第4回） 議事要旨

日時	平成21年1月20日（火）13:30~16:30
場所	ニュー新橋ビル B2 ニュー新ホール
出席者 （敬称略）	検討員 相野谷誠志、井田忠夫、桜井敏郎、森武昭（座長） 環境省出席者 夏井智毅、田畑克彦 実証機関 秩父市 加藤伸武 （財）日本環境整備教育センター 加藤裕之 事務局出席者 上幸雄、加藤篤、永原龍典
議事	（1）本年度実証試験結果（案）の報告 （2）山岳トイレ技術セミナーについて （3）試験要領第5版の改訂（案）について （4）その他
配付資料	資料1 実証試験結果報告書（案）（秩父市）〈非公開〉 資料2 実証試験結果報告書（中間報告）（（財）日本環境整備教育センター）〈非公開〉 資料3 山岳トイレ技術セミナー（案） 資料4 実証試験要領第5版の改訂（案）〈非公開〉
公開／非公開	議事は非公開で行なわれた

（1）本年度実証試験結果（案）の報告〈非公開〉

実証機関秩父市より、資料1について説明を行なった。

- 今回の指摘に基づき報告書を修正することとし、WGとしては承認することとする。

実証機関（財）日本環境整備教育センターより、資料2に基づき説明を行なった。

- 本報告書は、次回WGにおいて継続審議とする。

（2）山岳トイレ技術セミナーについて

事務局より、資料3に基づいて、山岳トイレ技術セミナーの案について説明を行った。

検討員より、山岳団体、自然保護団体などにも参加を呼びかけてはどうか、という意見が出された。

環境省より、来場者が多くなることは理想であるが、今回の開催の目的に即して、まずは、トイレ設置・管理者を中心に案内し、状況を見ながら広げていきたいとの意見があった。

環境省より、建築・設備業界への広報の可能性について質問があり、検討員より、自治体に登録している建築関係者など可能性があるとの意見があった。

● 広報 PR については、開催趣旨に沿って、まずは山小屋、地方環境事務所、自治体などに案内し、その後、参加申し込みの状況を見て山岳団体等へ広報を行うこととする。

### (3) 試験要領第5版の改訂(案)について

事務局より、資料4に基づき、実証試験要領について説明を行なった。

#### <特色表記について>

検討員より、事務局案のオゾンの特色については、現状の表中での整合は難しいものと考えられるとの意見があった。

検討員より、酵素剤については、薬剤添加の枠中で、弾力的に捕らえることで適用することが望ましいとの意見があった。

検討員より、特色中に「その他」項目を設けることが望ましいとの意見があった。

#### <経年調査について>

検討員より、申請者が理解しやすいよう、実証試験の受け入れ先の保障として、運営機関が実証機関として調査を実施できることを記載する必要があるとの意見があった。

環境省より、ロゴマークの運用について、実証番号をもう一つ付与することは可能であるとの意見があった。

検討員より、経年調査が、技術の差別化に繋がることを申請へのインセンティブにしたいとの意見があった。

#### <その他>

検討員より、実証機関の対象について、公益法人を示す表現を、法改正に準じて修正する必要があるとの意見があった。

検討員より、非放流式で「汲み取りー搬送」方式を実証対象とする可能性について意見があった。また、これについて検討員より、汲み取り方式においては「処理」ではないため、実証の視点からは当てはまらないとの意見があった。

● 本日の指摘事項を修正することとし、基本的には本内容について承認することとする。